



# し ろ や ま

令和6年3月25日

第10号

校長 鎌田 史顯

## 「いのち輝く」中学校生活に 第77回 卒業証書授与式

本校、第77回目の卒業証書授与式を3月18日（月）に行いました。「きずな学年」とのお別れを惜しむような雨や雪が降る肌寒い天気となりましたが、父母と教師の会会長の山口様、学校運営協議会長の武田様、委員の皆様、たくさんの保護者の皆様にご臨席いただき、緊張感の中にも温かさで感動のある式にすることができました。

中学校の制服を着た12名の卒業生は、凜とした表情でステージに一人ずつ登り、名前を呼ばれて「はい」と大きな声で返事をし、卒業証書を受け取って「ありがとうございました」と応えます。そして、ステージ上で立派に成長した姿を、堂々と胸を張って示し、体育館を半周して自席に戻りました。



校長式辞では、ステージ左右に配置した電子黒板に、これまでの成長の様子や卒業生の小学校生活のすばらしさ、これからへの期待することなどについて、スライドショーを投影しながらお話をしました。今年は、式のはじめから終わりまでのプログラムや、ご来賓の紹介、式歌や思い出の写真なども映像で紹介しました。「いつもの校長の式辞だと思ったけど、スライドショーがあって長く感じなかった。」「校長の話に保護者が何度も泣かされた。」「少し長かったけど、校長式辞が良かった。」と卒業生の保護者の皆様からお声を聞くことができました。

閉会のあいさつの後には、卒業生と在校生がメッセージと歌の交換をしました。12名だけの卒業生ですが、心のこもったメッセージと気持ちの入った歌声には心を動かされ、成長した姿が頼もしくて涙が出ました。寒い中でしたが、在校生も大きな声で感謝と応援のメッセージを送り、歌のプレゼントをしました。たくましく成長した卒業生を、「これからは私たちがより良い本沢小を作っていきます！」と在校生が見送る感動的な時間となりました。

本沢小は小規模校ですが、一人一人が「自分ができることを全力で取り組む」学校です。中途半端な取り組みや、イヤイヤするようなことはなく、「全力で臨むことの大切さ・得られるものの大きさ」を全員が理解できています。このすばらしい本沢小の文化をぜひ今後につなげて欲しいと思います。



# 玄関自動ロックと防犯カメラが設置

小学校への不審者の侵入による痛ましい事故が過去にあり、最近でも学校への侵入や不審者事案がなくなりません。多くの学校が登校後、1階フロアの全出入り口を施錠し、入り口を1箇所限定して訪問者を確認し、その都度解錠するのが当たり前になっています。本校では、登校後に昇降口を施錠していますが、来客・職員用玄関は自動ロックがないために、施錠時には来客がある度に玄関に行き、手で解錠する必要がありました。さらに、今年、動物の学校への侵入事件も発生し、隣県でも熊が学校に侵入したケースもありました。昨年、本沢地区でも不法入国した外国人とみられる3人が逃走を図ったため、数日間、校舎の施錠を徹底したり、校地内を巡回したり、外階段を何度も点検したりしました。

本校では火災想定避難訓練の他に、不審者対応や侵入者対策の訓練も実施していますが、指導に来ていただいた警察の方々から、「今は侵入した不審者から子供を守る」ではなく、「どうすれば侵入させないか」の訓練をすべきであり、玄関の自動ロックはぜひ導入して欲しいと伺っていました。

そこで、昨年度から、学校独自で来客用玄関への自動ロックシステムの導入を計画し、見積もりをとり、学校で準備しきれない経費について協力をいただくために、学校運営協議会でも話題にしました。今年度のはじめ、自動ロックシステムがない学校を対象に、防犯カメラとのセットで補助金が出ることになり、市内12校で一斉に工事が始まることになりました。

来校され、インターフォンでお話いただくと職員室のモニターで確認させていただき、職員が解錠します。入り口の扉が閉まると、自動的に施錠されます。また、防犯カメラは玄関と体育館玄関周辺に4台設置されており、職員室内にはカラーモニターがあって常時録画されています。先日の卒業式の日には、保護者と卒業生の登校の様子や、玄関前の人数、天気や全員が校舎に入られたことなども職員室内で確認することができました。

学校に防犯カメラが設置されるということで、違和感を感じたり、子供たちが監視されたりするのではないかと不安に思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、あくまでも防犯及び不審者対策が目的です。ご安心下さい。



自動ロック導入のために玄関扉が新しいものになりました



正面玄関前の防犯カメラ

防犯カメラ設置を知らせる体育館玄関の柱の掲示



体育館南側を撮影するカメラ



職員室にカメラの映像を見ることができる大型モニターが設置されました